

平成 29 年度

素形材技術研修講座 「鋳鉄の生産技術(東京開催)」

ご 案 内

主催 一般財団法人素形材センター
公益社団法人日本鋳造工学会

素形材センターは、今後の鋳造業の技術継承、発展に寄与する実務技術者に求められる現場知識と幅広い工学的知識を有する技術・技能者を育成することを目的として、「素形材技術研修講座」を開催いたします。

本講座は、正しい理論に裏付けされた技術の習得及び現場の諸問題に的確に対応し、現場をリードできる技術・技能者を育成するために、理論と実際をテーマに、現場の経験を講義の中に多く取り入れ、また、最新の情報を多く提供するものです。つきましては、必ずや明日からの業務に活かされるものと確信し、積極的なご参加をおすすめいたします。受講者としては、現場経験 3～5 年程度の方、現場経験は長いけれども、改めて理論的知識を習得したい方などを対象としています。なお、本素形材技術研修講座は、日本鋳造協会と日本鋳造工学会が鋳造中核人材育成事業の一環として実施する「鋳造カレッジ」の受講資格のひとつとして位置づけられています。

今回ご案内する「鋳鉄の生産技術」は、一般財団法人素形材センターと公益社団法人日本鋳造工学会が共催して、東京において開催いたします。

■日 時 平成 29 年 11 月 27 日(月)～30 日(木) 4 日間(座学：3.5 日，工場見学：0.5 日)

■場 所 (座 学) 機械振興会館地下 3 階 B3-1 号室

東京都港区芝公園 3-5-8

(工場見学) ㈱辻井製作所 埼玉県川口市元郷 1-32-9



■プログラム

平成 29 年 11 月 27 日(月)

- | | |
|------------------------------------|-------------|
| 1. 鋳鉄の材質及び基礎技術【鋳鉄の組織及びねずみ鋳鉄の材質と用途】 | 10:00～11:45 |
| 岩手大学 理工学部 附属鋳造技術研究センター客員教授 工博 堀江 皓 | |
| 1. 鋳鉄の材質及び基礎技術【球状黒鉛鋳鉄の材質と用途】 | 12:45～14:10 |
| 岩手大学 理工学部 附属鋳造技術研究センター客員教授 工博 堀江 皓 | |
| 3. 鋳造方案の考え方と欠陥対策【鋳造方案の考え方】 | 14:20～15:45 |
| (有)張技術事務所 代表取締役所長 工博 張 博 | |
| 3. 鋳造方案の考え方と欠陥対策【鋳造欠陥とその防止策】 | 15:55～17:20 |
| (有)張技術事務所 代表取締役所長 工博 張 博 | |

平成 29 年 11 月 28 日(火)

- | | |
|--|-------------|
| 2. 鋳鉄溶解の基礎【誘導炉溶解の実際】 | 10:20～11:45 |
| 草野産業(株) 技術顧問 鈴木敏光 | |
| 2. 鋳鉄溶解の基礎【キューポラ溶解の実際】 | 12:45～14:10 |
| (株)ナニワ炉機研究所 専務取締役 村田博敏 | |
| 3. 鋳造方案の考え方と欠陥対策【CAE と鋳造方案】 | 14:20～15:45 |
| クオリカ(株) 製造サービス事業部 製造サービス第一部 JSCAST グループ主査 木下文昭 | |
| 4. 造型技術の基礎【生型造型法と生型砂】 | 15:55～17:20 |
| (公社)日本鋳造工学会 事務局長 佐藤和則 | |

平成 29 年 11 月 29 日(水)

- | | |
|-------------------------------|-------------|
| 4. 造型技術の基礎【中子造型法と砂】 | 10:00～11:45 |
| (一社)日本鋳造協会 技術顧問 鈴木伸二 | |
| 4. 造型技術の基礎【自硬性鋳型の砂管理と鋳造欠陥】 | 12:45～14:10 |
| (株)木村鋳造所 常務取締役開発統括 工博 菅野利猛 | |
| 5. 品質管理と品質保証【組織試験、機械的性質試験】 | 14:20～15:45 |
| 元 日立金属(株) 工博 五十嵐芳夫 | |
| 5. 品質管理と品質保証【非破壊検査】 | 15:55～17:20 |
| (有)日下レアメタル研究所 取締役技術部長 工博 鹿毛秀彦 | |

平成 29 年 11 月 30 日(木)

- | | |
|--------------------|-------------|
| 6. 品質管理と QC 7 つの道具 | 10:00～11:40 |
| 小林技術士事務所 所長 小林良紀 | |
| 7. 工場見学 | 13:30～15:30 |
| ㈱辻井製作所 | |

※当日は、機械振興会館前よりバスで現地へ移動します。解散は、東京駅 17:00 頃を予定しています。

※工場見学における服装は安全を考慮した常識範囲内をお願いします(短パン、サンダル履き等の軽装はご遠慮下さい)。職場で使いの作業服での参加は大丈夫です。

■参加要領

◇定 員 40 名 (申込順に受け付け、定員になり次第締め切ります)

◇受講料 77,760 円 (消費税込み、工場見学バス代を含む。但し宿泊・食事は含まない。)

素形材センター特別賛助会員、一般賛助会員及び日本鑄造工学会正会員・学生会員は、38,880 円(50%割引)。1 日単位での受講をご希望の方は、下記申込先までご相談下さい。但し 30 日のみのご参加は、ご遠慮下さい。

※協賛会員の方へ：協賛会員の特典にセミナー・研修の割引はありません。ご理解をお願いいたします。

※開催前日まで受講取消のご連絡がなく、当日欠席されても受講料はお返しいたしません。

◇申込方法

下記申込書に所要事項記入の上、FAX もしくは E-mail でお申込み下さい。

〒105-0011 東京都港区芝公園 3 丁目 5 番 8 号 機械振興会館 3 階 301 号室
一般財団法人 素形材センター 企画部
電話 03(3434)3907 FAX03(3434)3698 E-mail kensyu@sokeizai.or.jp

ホームページ(<http://sokeizai.or.jp>)からワードファイルの申込書が入手できます。

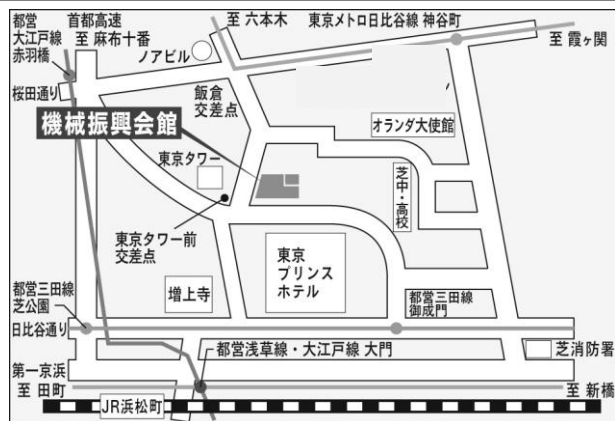
◇受講料のお支払い

参加申込後、受講証と請求書を郵送いたします。

(領収書を必要とする場合は、申込書にその旨をご記入下さい。振込手数料は、ご負担願います。)

◇申込締切 平成 29 年 11 月 20 日 (月)

◇会場案内図



地下鉄：東京メトロ日比谷線神谷町駅下車(徒歩 8 分)、都営三田線御成門駅下車(徒歩 10 分)、都営大江戸線赤羽橋駅下車(徒歩 10 分)、都営浅草線大門駅下車(徒歩 15 分)

J R：浜松町駅下車(徒歩 17 分)

バス：浜松町～東京タワー路線東京タワー前下車

個人情報保護法に関する対応

ご記入頂いた個人情報は、本研修講座の事務に利用するとともに、参加者リストを作成し、講師と参加者に手交します。
また、素形材センターの行う各種研修、セミナー、出版物、事業の案内状の送付に利用する予定です。今後、素形材センターが行う素形材産業の実情に関する調査アンケートへの協力依頼を行う場合もあります。

申 込 書

素形材センター企画部(FAX03-3434-3698) (E-mail kensyu@sokeizai.or.jp)

平成 29 年度素形材技術研修講座「鑄鉄の生産技術(東京開催)」

会 社 名

所 在 地(〒 -)

- ア. 素形材センター特別賛助会員
イ. 素形材センター一般賛助会員
ウ. 日本鑄造工学会正会員
エ. 日本鑄造工学会学生会員
オ. 上記いずれにも該当せず
(素形材センター協賛会員含む)
(該当に○印をつけて下さい)

電 話

FAX

連絡者名

所属

E-mail

受講者氏名	所 属・役 職

金額.....円也、上記のとおり受講いたしますので、申し込みます。 平成 年 月 日

*メールマガジン ☐購読希望 素形材センターメールマガジン購読をご希望の方はチェックを入れてください。
定期的に、事業の最新情報、募集案内、イベント情報、その他、官庁関連情報、業界情報などを無料で配信しています。